



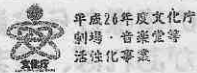
九条はらまち

福島県「はらまち九条の会」会報 No.252

2014(平成26)年11月27日(木)発行



○「金持ちは政治家になってはいけない」と、「世界一貧しい大統領」のウルグアイのムヒカ大統領が話しています。ムヒカ氏は貧困家庭に生まれ、今でも公邸に住まず、給与の90%を慈善事業に寄付しているそうです。●片や、日本の政治家はどうでしょう。総選挙では「選良」に値する方を選びたい!



平成26年度文化庁
創発・普及等
活性化事業

地震と津波と原発事故 浪打ち際で風化する男の人生

古里を捨てて行く男の悲しみに 破壊された彫刻は何を思ったか

○ 2015年2月1日(日) 開場13:30 開演14:00

○ 南相馬市民文化会館 (ゆめはっと)

作・演出 倉本 聡 富良野GROUP公演 2015冬

ノクターン 夜想曲

〈料金〉 友の会会員3,200円・一般3,500円・高校生以下1,000円



○この演劇の台本は、倉本聡氏が若松丈太郎さん(本会会員・詩人)の詩『神隠しされた街』(会報No.165-203参照)を読んだことから発想され、相双地区を舞台にした津波と原発事故被災者の物語です。あの名作『北の国から』の倉本氏が、原発事故被災民の苦悩をテーマにされ全国で注目されています。小高区川房から北海道の富良野に避難されている中里範忠さん(「小高九条の会」事務局長)は、富良野GROUPの稽古を連日見学し、「ぜひ、原町公演を成功させたい」と強く話され(会報No.222参照)、会員の皆様にも観劇をお薦めいたします。

新刊案内

皆さんの
推薦本を
お知らせ
ください

『被ばく列島』

放射線医療と原子炉
小出裕章・西尾正道著
KADOKAWA ¥800+税

10月の新刊。原発事故から3年9カ月の南相馬市や福島県内では、放射能を話題にすることはタブーです。しかし、現実にはこの本のように深刻なことが進行中で、愕然とします。昨年6月の小出先生の南相馬市講演会の続編の内容で、問題は福島だけのことではありません。



『知ろうとすること』

早野龍五・糸井里著、新潮文庫 ¥430+税 原発事故により拡散した放射性物質がどんな影響をもたらすのか、とにかく測り続けて「知ろうとすること」が大切です。対談なので読みやすい文庫です。

◆それは「想定外」ではなかった 『原発と大津波 警告を葬った人々』

添田孝史著・岩波新書 ¥740+税

原発建設以前から、稼働後も地震や大津波対策への警告は、この本の科学者だけでなく、市民からも訴えられていたことでした。国も東電も司法さえも、命よりも経済優先で、それをごとごとく無視してきたのです。

30年以上も前、抗議の会で私たちが危険性を真摯に訴えているのに、東電社員たちは「事故なんて起きません」と薄ら笑いを浮かべて全く取り合わなかったことを思い出します。

現在「再稼働をめざす人々」は「警告を葬った人々」と重なっているように思えます。事故前後で、何も変わっていないかのようです。

『福島への帰還を進める日本政府の4つの誤り』

沢田昭二などの共著・旬報社・¥1512 経済優先で帰還を強引に進める国や政府の誤りの数々。(会報次号で紹介しします)



会員や市民の皆様から

■「いつも会報ありがとうございます。会費をうっかりためてしまいました。すぐ送ります。」
(福島市 Oさん)

■「**『憲法の「空語」を充たすために』**
内田樹著・かもがわ出版 ¥900+税

私と同じ合気道主内田樹が出した小冊子を見つけ、早速読みましたが、とても役に立ちました。お薦めします。九条の問題も沖縄のことも、すべてつながっていますね。相模原と福島と地理的には離れていますが、日本のあるべき姿を求めて、ご一緒に力を尽くしていきましょう。」
(相模原市 Mさん)

■「**『戦後史の中の福島原発・開発政策と地域社会』**中嶋久人著・大月書店・250

0円+税) 福島市の九条の会の方から教えられて読んでみました。原発の交付金はほとんど会津や中通りが横取りし、浜通りのためにはつかわれず、同じ県内でも相双地区は馬鹿にされ軽視されてきたんだなあ大変悔しく思います。現在も同じです。民度が低いということなのでしょうか。」(小高区 Sさん)

■「会費送ります。多忙な中、事務局の皆様有難う御座居ます。私達はここ原町で頑張っています。」(原町区 Yさん)



■「いつもお世話になっております。各種資料もお届け頂きありがとうございます。年会費3年分3000円まとめて振込みました。また次年度の会費につきましては、会の方向性や活動性が現在不透明なため、総会などが行われ、代表や事務局の皆様から会員への所信表明、活動計画の発表があれば、是非年会費を収めたいと思います。」(原町区 Sさん)

<事務局よりお答えします>

Sさんのご意見はごもっともでその通りです。事務局の都合で、震災後一度も総会を開催せず、一同反省しています。総会は毎年計画しても、同時に行う講演会などの計画でいつも頓挫してきて、来年春にこそ開催しようと相談しています。ただ、私たちの活動は「九条を守る」という一点でのささやかなものです。一般の政治活動のように現実的な施策を具体的に実現するものではないと考えます。会の方向性や活動の様子は、事務局会で検討する「会報」各号を熟読していただければ、ある程度お分かりになると思います。ご意見ありがとうございます。

<事務局より>



◆失礼とは思いましたが、年会費未納の方に、催促させていただきました。ご理解ください。

会費の納入方法は (年会費 1,000円)

- ①直接、事務局員に手渡すか、郵送する。
- ②ゆうちょカードATMで、「はらまち九条の会」
口座記号18260 番号16187701
- ③郵便為替取扱票では、口座記号02260-1
口座番号89911 加入者名「はらまち九条の会」(手数料120円がかかります)

震災から3年9ヶ月、大混乱により会員の全国への転居先不明が多く、またご高齢会員さんの死去、退会などで変動も激しくなっていますが、会員数は437名。

11月25日現在の本会会計の現金有高は、589,914円です。(会計・井上)

◆会報が「250号」を超えました。問い合わせもありますが、「101号~250号会報集録」は、今年でなく来年「本会発足10周年記念」として発行予定です。その節はよろしく願いいたします。

- ◆11月27日事務局会で話合った今後の活動は、
- ①『憲法』小冊子を全市民に配布する陳情書を12月の市議会に出してはどうか。
 - ②1月の成人式の新成人に『憲法』小冊子を配布する。8年(回)目となります。
 - ③春の市内イベントに参加しブースを設け「九条にノーベル賞を」の署名活動、AKB48内山奈月サイン会も検討する。
 - ④4月~10月に総会・講演会の開催する。吉永小百合さんの朗読会などを検討しています。来年で本会も10周年です。

<「はらまち九条の会」事務局連絡先> 市外局番は、TEL0244

○会長:平田慶華(ひらたけいいち) TEL24-1211

○事務局長:山崎健一 TEL090-7527-5453 Eメール:yamazakiken1@gmail.com

○会計:井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL22-7511・FAX26-0892

○石田賢二 TEL22-4037 ○早坂吉彦 TEL22-0326 ○香場恵子 TEL22-0715 ○志賀勝明

○ホームページ担当:大浦祥見 TEL24-0704 :栗村文夫・桂子 TEL090-8851-6904

